

2024 年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	2024 年 8 月 28 日（水）10 時 30 分～11 時 15 分
出席者	市長、副市長、市長室長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、行財政局長、行財政局副局長、環境局長、環境局副局長、環境局部長（施設担当）
議題	クリーンセンター等の将来整備計画及びごみの減量・資源化の推進
提案概要	<p>○クリーンセンター等のごみ処理（焼却・中継・破碎・資源選別）施設は今後、施設の寿命や老朽化による更新・大規模改修のタイミングを迎える。</p> <p>○人口の推移や新たな減量施策も考慮したうえで、将来ごみ量を精査し、将来的な市域全体のごみ処理体制の方向性について提案、協議を行う。</p> <p><クリーンセンター等の将来整備計画></p> <p>市域全体のごみ処理施設の将来あるべき姿の方向性を決定するにあたっては、長期的・総合的な視点に立った全体計画の策定が必要。</p> <p>主な観点は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none">・将来ごみ量を精査し、市域全体の処理施設の数、規模を検討する。・施設整備にあたっては、開発による環境への負荷等を考慮し、可能な限り既存市有地の活用を検討する。・将来世代のために、可能な限り将来を見据え、持続可能性を追求し、現時点で考え得る最適な長期見通しを策定する。 <p><ごみの減量・資源化の推進></p> <ul style="list-style-type: none">・国は、天然資源の効率的な運用・廃棄物の発生抑制・資源循環の推進、リユース品や地域の循環資源等を活用した製品の利用促進や地産地消、食品ロス削減、サステイナブルファッション等を重点取組とする計画を改定した。本市においても、これらを踏まえつつ、神戸の特色を活かした施策を進める必要がある。・現行の神戸市一般廃棄物処理基本計画では、2025 年度のごみ

	<p>排出量の目標値を、2013 年度比で 10%削減としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023 年度の実績は、家庭系ごみは 441g（目標値 450g）、事業系ごみは 180,730 t（目標値 175,400 t）である。 ・ 将来的な市域全体のごみ処理体制の検討にあわせて、更なる減量・資源化施策に取り組んでいく。
<p>会議結果 (主な意見 等を含む)</p>	<p>全体的な方向性については了。次年度予算の編成に向けて継続して議論を行うこと。</p> <p><クリーンセンター等の将来整備計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来的なごみ処理体制について、人口の推移や減量施策の効果を注視しながら、引き続き具体的な検討を進めていく。 <p><ごみの減量・資源化の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな減量施策・資源化について、スケジュールなどの検討を進め、施策の具体化を図る。 ・ 全庁的な取り組みについては各局連携して対応していく。 ・ 既存の減量施策・資源化についても、広報などをさらに実施し、取り組みを広げていく。